

令和5年9月27日

## 「世界脳卒中デー」に合わせた岡山城ライトアップについて

脳卒中は、脳の血管が破れたり詰まったりして、脳の血液の循環に障害をきたし、様々な症状を起こす病気です。

日本人の死亡原因の第4位で、治療によって命が助かったとしても、後遺症が残る場合があり、介護を必要とする原因の第2位、寝たきりとなる原因の第1位となっています。

毎年10月29日は、世界脳卒中機構が定めた「世界脳卒中デー」であり、公益社団法人日本脳卒中協会では、一般市民に脳卒中に関する知識を広め、理解を高めてもらうために、全国の様々な施設で、世界脳卒中機構のシンボルカラー（indigo blue）によるライトアップを行う予定です。

本県でも、その趣旨に賛同し、次のとおり岡山城のブルーライトアップを実施します。

### 1 実施日時・場所

令和5年10月29日（日） 日没から24時  
岡山城

### 2 ライトアップの色

インディゴブルー

### 3 目的

世界脳卒中デーに合わせて、岡山城を世界脳卒中機構のシンボルカラー（indigo blue）にライトアップすることで、脳卒中に関する啓発を行います。

### 4 その他

令和4年度は太陽の塔（大阪府）、明石海峡大橋（兵庫県）など国内51箇所で開催しており、岡山県内は今年度の岡山城が初となります。

岡山県保健医療部医療推進課